

平成26年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 中学校第2学年 理科 出題のねらい等

No.1

連番	大問	中問	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点				問題類別	
								自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	知識	活用
①	1	(1)		第1分野 物理	中2	(1)イ(イ) 圧力	標高により大気から受ける力の大きさが変わること		○				○
②		(2)		第1分野 物理	中2	(1)イ(イ) 圧力	液体は気体と違い、周囲から圧力が加わっても、体積が変化しにくいことを表現できること。		○				○
③		(3)		第1分野 物理	中2	(1)イ(イ) 圧力	ばねばかりを吸盤に対して垂直にゆっくりと引くことを答えることができること。			○		○	
④		(4)		第1分野 物理	中2	(1)イ(イ) 圧力	大気の圧力によって生じる力の特徴について表現できること。		○				○
⑤		(5)		第1分野 物理	中2	(1)イ(イ) 圧力	大気の圧力によって起こる身の回りの現象について調べようとしていること。	○					○
⑥		(6)		第1分野 物理	中2	(1)イ(イ) 圧力	物体が水中で水から受ける圧力は、物体の重さには関係はなく、体積に関係していることを表現できること。		○				○
⑦		(7)		第1分野 物理	中2	(1)イ(イ) 圧力	圧力の大きさの求め方を理解していること。				○	○	
⑧	2	(1)		第1分野 化学	中2	(4)イ(イ) 酸化と還元	加熱実験では、火を消す前に水中からガラス管を抜くことを身に付けていること。			○		○	
⑨		(2)		第1分野 化学	中2	(4)イ(イ) 酸化と還元	銅の同定方法を調べようとしていること。	○					○
⑩		(3)		第1分野 化学	中2	(4)イ(イ) 酸化と還元	二酸化炭素の同定法により同定することができること。			○		○	
⑪		(4)	a	第1分野 化学	中2	(4)イ(イ) 酸化と還元	化学変化をモデルで表すことができること。				○	○	
⑫			b	第1分野 化学	中2	(4)イ(イ) 酸化と還元	化学変化を化学反応式で表す方法を理解していること。				○	○	
⑬		(5)		第1分野 化学	中2	(4)ウ(ア) 化学変化と質量の保存	実験結果のデータをグラフに表すことができること。			○		○	
⑭		(6)	a	第1分野 化学	中2	(4)ウ(ア) 化学変化と質量の保存	グラフと実験結果のデータを比較考察することができること。		○				○
⑮			b	第1分野 化学	中2	(4)ウ(ア) 化学変化と質量の保存	実験結果から実験方法の修正を考えることができること。			○		○	

平成26年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」中学校第2学年 理科 出題のねらい等

No.2

連番	大問	中問	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点				類 別	
								自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	知識	活用
⑯	3	(1)		第2分野 生物	中2	(3)ウ(ア) 脊椎動物の仲間	子どもを産む動物の仲間のふえ方の名称を理解していること。				○	○	
⑰		(2)		第2分野 生物	中2	(3)ウ(ア) 脊椎動物の仲間	卵の様子と陸上生活への適応との関連について表現できること。		○				○
⑱		(3)		第2分野 生物	中2	(3)ウ(ア) 脊椎動物の仲間	変温動物の行動について、気温との関係に興味・関心をもっていること。	○					○
⑲		(4)		第2分野 生物	中2	(3)ウ(イ) 無脊椎動物の仲間	解剖の目的を理解した上で観察を行うことができること。			○		○	
⑳		(5)		第2分野 生物	中2	(3)イ(ア) 生命を維持する働き	血液の働きや成分を理解していること。				○	○	
㉑		(6)		第2分野 生物	中2	(3)イ(ア) 生命を維持する働き	肺胞や毛細血管について、理解していること。				○	○	
㉒		(7)		第2分野 生物	中2	(3)イ(ア) 生命を維持する働き	肺やえらが酸素を取り入れやすいつくりになっている特徴を表現できること。		○				○
㉓	4	(1)		第2分野 地学	中1	(2)イ(ア)地層の重なりと過去の様子	地層を観察する際の留意点について考えることができること。			○		○	
㉔		(2)		第2分野 地学	中1	(2)イ(ア)地層の重なりと過去の様子	アンモナイトの生息した時代と示準化石について理解していること。				○	○	
㉕		(3)		第2分野 地学	中1	(2)イ(ア)地層の重なりと過去の様子	海底が現在高い山脈となっている理由を表現できること。		○				○
㉖		(4)		第2分野 地学	中1	(2)イ(ア)地層の重なりと過去の様子	サンゴが生息している環境を理解していること。				○	○	
㉗		(5)		第2分野 地学	中1	(2)イ(ア)地層の重なりと過去の様子	地層の重なりから時間的経過を表現できること。		○				○
㉘		(6)		第2分野 地学	中1	(2)イ(ア)地層の重なりと過去の様子	凝灰岩の特徴を理解していること。				○	○	
㉙		(7)		第2分野 地学	中1	(2)ア(ア)火山活動と火成岩	軽石の表面の特徴から、軽石の表面の穴のでき方を表現できること。		○				○
㉚		(8)		第2分野 地学	中1	(2)イ(ア)地層の重なりと過去の様子	違う路頭で観察した地層が同じものである理由を表現できること。		○				○

※ 網掛けの問題は、平成25年度調査において課題が見られた内容の改善状況を見る問題として出題しています。